



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 ブルドックソース株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)池田 章子  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)佐藤 貢一 TEL03 - 3668 - 6811  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	4,285	1.4	303	1.0	377	5.0	237	1.1
22年3月期第1四半期	4,347	0.0	300	23.2	359	20.1	234	74.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	3.43	-
22年3月期第1四半期	3.39	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	19,982	14,372	71.9	207.66
22年3月期	20,097	14,520	72.2	209.79

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 14,372百万円 22年3月期 14,520百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	-	1.50	-	2.00	3.50
23年3月期	-	-	-	-	-
23年3月期(予想)	-	1.50	-	2.00	3.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	0.6	440	17.1	520	10.1	300	11.4	4.33
通期	17,000	0.7	950	16.5	1,050	11.6	600	26.9	8.67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付書類】P.4「その他の情報」をご覧ください。

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 : 有

以外の変更 : 有

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	69,774,401株	22年3月期	69,774,401株
23年3月期1Q	559,510株	22年3月期	559,510株
23年3月期1Q	69,214,891株	22年3月期1Q	69,216,570株

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

(注意事項)

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページを参照してください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、子供手当の施行、エコポイント事業の継続などの政府による景気対策等により一部の主要産業に回復の兆しはみられるものの、ユーロ圏諸国の財政不安の影響で株価が下落し円高が進み、企業業績は依然として厳しい状況で推移しました。

食品業界におきましても、天候不順の影響による食材の高騰に加えて、消費者の節約志向による消費の低迷から激しい価格競争は継続し、雇用情勢や景気の先行きが不透明ななかで購買力の回復にはいまだ時間を要しています。

このような状況の下、当社グループは、お客様に支持される価値ある商品づくりに取り組み、メディアへの様々な対応を通じて、ソースを使ったメニューを積極的に紹介し、需要拡大を図るとともに、お好み焼き、焼きそばなどの専用ソースの売上拡大および業務用PB（プライベートブランド）商品売上拡大を狙い新しい流通チャネルの開拓を積極的に展開する一方、引き続き徹底した合理化・効率化を推進し、競争力のある企業グループを目指してまいりました。

その結果、当第1四半期の売上高は42億8千5百万円、営業利益は3億3百万円、経常利益は3億7千7百万円、四半期純利益は2億3千7百万円となりました。

売上高におきましては、対前年同四半期比6千1百万円の減少（前年同四半期比1.4%減）となりました。営業利益におきましては、経営全般にわたる徹底した効率化等を実施した結果、対前年同四半期比2百万円の増加（前年同四半期比1.0%増）、経常利益におきましては対前年同四半期比1千7百万円の増加（前年同四半期比5.0%増）、四半期純利益におきましては、対前年同四半期比2百万円の増加（前年同四半期比1.1%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億1千5百万円減少し、199億8千2百万円となりました。増減の主なものは、流動資産では、受取手形及び売掛金が4千9百万円増加したものの、固定資産において、投資有価証券が3億8千7百万円減少したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ3千2百万円増加し、56億9百万円となりました。増減の主なものは、流動負債では、未払費用などの減少があったものの、未払法人税等が1億2百万円増加し、固定負債では、退職給付引当金が増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億4千7百万円減少し、143億7千2百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の減少によるものです。これにより自己資本比率は、71.9%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4千万円増加し、19億9千3百万円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、2億8千3百万円の収入(前年同四半期は、2億2千9百万円の収入)となりました。

これは主に、未払費用の減少額1億3百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益3億6千4百万円などの増加によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億2千5百万円の支出(前年同四半期は、7千1百万円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出1億2千8百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億1千7百万円の支出(前年同四半期は、1億8千9百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額1億1千7百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しにつきましては、平成22年4月30日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### 法人税等の算定方法

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これにより税金等調整前四半期純利益が4百万円減少しております。

#### 表示方法の変更

##### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間において、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「貸付金の回収による収入」は重要性が増加したため、当第1四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第1四半期連結累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「貸付金の回収による収入」は4百万円です。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,018	1,978
受取手形及び売掛金	4,333	4,284
商品及び製品	388	359
原材料及び貯蔵品	86	80
仕掛品	31	27
繰延税金資産	299	299
その他	79	65
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	7,238	7,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,261	2,281
機械装置及び運搬具(純額)	1,006	998
土地	2,711	2,711
その他(純額)	96	102
有形固定資産合計	6,075	6,094
無形固定資産		
	85	89
投資その他の資産		
投資有価証券	5,478	5,866
繰延税金資産	727	565
その他	410	423
貸倒引当金	33	34
投資その他の資産合計	6,583	6,820
固定資産合計	12,744	13,004
資産合計	19,982	20,097

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	1,695	1,631
1年内返済予定の長期借入金	200	200
未払金	122	125
未払費用	890	985
未払法人税等	126	23
賞与引当金	109	216
その他	115	72
流動負債合計	3,259	3,255
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,400	1,400
退職給付引当金	758	731
長期未払金	173	173
その他	18	17
固定負債合計	2,350	2,322
<b>負債合計</b>	<b>5,609</b>	<b>5,577</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	11,246	11,148
自己株式	393	393
株主資本合計	14,462	14,363
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	89	157
評価・換算差額等合計	89	157
<b>純資産合計</b>	<b>14,372</b>	<b>14,520</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>19,982</b>	<b>20,097</b>



## (2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,347	4,285
売上原価	2,083	2,005
売上総利益	2,263	2,280
販売費及び一般管理費	1,963	1,976
営業利益	300	303
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	74	80
その他	1	2
営業外収益合計	76	83
営業外費用		
支払利息	9	8
減価償却費	6	-
その他	1	0
営業外費用合計	17	9
経常利益	359	377
特別利益		
固定資産売却益	-	0
過年度損益修正益	6	-
その他	0	0
特別利益合計	6	0
特別損失		
固定資産除却損	5	7
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	4
その他	0	1
特別損失合計	5	12
税金等調整前四半期純利益	359	364
法人税、住民税及び事業税	125	127
法人税等合計	125	127
四半期純利益	234	237

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	359	364
減価償却費	111	122
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	4
貸倒引当金の増減額(は減少)	0	0
賞与引当金の増減額(は減少)	100	106
退職給付引当金の増減額(は減少)	7	26
受取利息及び受取配当金	74	80
支払利息	9	8
固定資産除売却損益(は益)	5	7
売上債権の増減額(は増加)	124	49
たな卸資産の増減額(は増加)	26	39
仕入債務の増減額(は減少)	36	63
未払金の増減額(は減少)	4	0
未払費用の増減額(は減少)	98	103
その他	26	11
小計	181	229
利息及び配当金の受取額	74	80
法人税等の支払額	26	26
営業活動によるキャッシュ・フロー	229	283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	67	128
有形固定資産の売却による収入	-	0
投資有価証券の取得による支出	6	19
貸付金の回収による収入	-	19
その他	3	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	71	125
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	0	-
配当金の支払額	189	117
その他	-	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	189	117
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	31	40
現金及び現金同等物の期首残高	1,401	1,953
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,370	1,993

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計に占めるソース類製造販売事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業別の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報を記載しておりません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高がないため、海外売上高を記載しておりません。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

当社は、ソース類事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)  
該当事項はありません。